

(第1号様式)

令和2年5月20日

神奈川県教育委員会教育長 殿

## 学校教育計画（令和2年度～令和5年度）

学校名	横浜立野高等学校	課程・学科 教育部門・学部	全日制 普通科
-----	----------	------------------	---------

### 1 学校のミッション

- 生徒一人ひとりの学習や進路等の目標の実現に應えるため、学年制によるカリキュラム・マネジメントに学校全体で取り組み、学力の育成、豊かな人間性や社会性を培い、社会的・職業的に自立することをめざした学校づくりに取り組む。
- 教育課程については、共通教科・科目を中心に、生徒の特性や地域・学校等の実情を踏まえながら、普通科として適切な編成を行う。
- 生徒の思考力・判断力・表現力等の育成を図り、生徒が主体的に学ぶ意欲を高めることをめざした不断の授業改善を行い、これからの時代に求められる資質・能力の育成に向けた教育活動の充実に取り組む。
- 生徒の安全、安心の確保に努めるとともに、地域等との協働による、地域に開かれ、地域と共にある学校づくりに取り組む。

### 2 学校教育目標

- 自主的で気力と責任ある態度を養う。
- 学力を充実し、教養を高める。
- 情操を豊かにし、意志を堅くする。
- 心身ともに健康で、安全に努める。
- 自他を敬愛し、公正に生きる。
- おのれを生かし、人のために尽くす。

### 3 計画策定時点での課題

- 大学進学に際して、一般受験に対応できる学力の向上が課題である。また、希望進路と学習状況のギャップについて自己理解が遅く、対応が不十分なまま受験を迎える生徒が少なからずいる状態である。そのための適切な教育課程編成や高い意欲を早期に醸成する一層の授業改善、3年間の学習による到達度を意識した指導計画、機を逃さない的確な進路ガイダンスと学習支援が必要である。
- あいさつ、身だしなみやマナーなど、規範意識の向上に関わる指導を継続的・発展的に行っていく必要がある。
- 心の問題を抱える生徒が少なからずいることから、生徒一人ひとりに寄り添った組織的な教育相談体制・教育支援体制の充実が必要である。
- 今までの取り組みより効果的・発展的に推進し、地域に開かれ、地域と共にある学校づくりをさらに進める必要がある。
- 学校の教育活動に関する情報発信について、効果的な方法と内容を常に検証し、積極的な発信を行う必要がある。
- あらゆる教育活動の場面を通して、主体的に思考させるとともに、他者の思考を共有し再構築した思考をもとに、協調性のある主体的な行動を実践させていくことにより、自己肯定感や自己有用感を醸成させていく必要がある。

#### 4 4年間の目標と主な方策

	視点	4年間の目標	目標達成に向けた主な方策
1	教育課程 学習指導	<p>○生徒が主体的に学ぶ意欲を高め、確かな学力を身につける教育課程編成や組織的な授業改善に取り組む。</p> <p>○学校行事や生徒会活動を工夫・充実させ、生徒の主体性、協調性の育成を図る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員が情報を共有し、生徒に考えさせる授業を積極的に取り入れていく。</li> <li>・生徒の主体的な運営を支援し、成功体験を積ませることで、自己肯定感や自己有用感を醸成する。</li> </ul>
2	(幼児・児童・) 生徒指導・支援	<p>○日常的な生徒指導を通して社会規範を身につけるとともに、部活動等において自己実現に向けて努力する姿勢を育てる。</p> <p>○個に応じた相談・支援体制の充実を図る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・指導方針を全職員が共有し、様々な機会を通して適切な指導を行っていく。</li> <li>・担任による面談や必要に応じたケース会議を開催し、生徒理解に努め、個に応じた適切な支援を行っていく。</li> <li>・スクールカウンセラーを活用した支援体制を構築する。</li> </ul>
3	進路指導・支援	<p>○生徒一人ひとりの進路希望を実現できるよう進路指導體制・教育相談体制・学習支援体制の充実を図る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒・保護者向け進路説明会やガイダンスを効果的な時期に実施し、有益な情報を発信していく。また、職員向け研修も適宜行い、希望進路実現に向けた支援を行っていく。</li> <li>・進路室や自習室を整備し、生徒が進路選択に必要な情報を主体的に検索できる環境を提供する。</li> <li>・総合的な探究(学習)の時間を有効に活用したキャリア教育を実践する。</li> </ul>
4	地域等との協働	<p>○地域貢献活動や地域との協働活動等を充実させ、地域とともにある学校づくりを推進する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒が、近隣の小・中学校や地域と積極的に関わる機会を設け、地域との関係を深めるとともに、生徒の公共心・社会性の涵養に努める。</li> </ul>
5	学校管理 学校運営	<p>○安全・安心・快適な学習環境の整備に向けた取組みを一層推進するとともに、不祥事防止を通じて保護者や県民から信頼される学校づくりを確立する。</p> <p>○学校の教育活動に関する情報発信を積極的に行い、学校への理解が深まるよう努める。</p> <p>○生徒と向き合う時間を確保するために、組織的な学校運営と校務の効率化を図る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・防災活動マニュアルに基づき、地域と連携して不測の事態に備えるとともに、防災教育の充実を図る。</li> <li>・快適に生活できる校内環境を整備する。</li> <li>・PTAと連携した教育活動を推進する。</li> <li>・生徒が主体となった説明会を実施し、本校の魅力を発信していく。</li> <li>・業務の更なるICT化を推進し、働き方改革に繋げていく。</li> </ul>